

1 学期終業式 学校長の話（2026 年 7 月 16 日）

- 今日で一学期が終わります。この三ヶ月間、みんな本当によく頑張りました。
4 月の始業式で、僕は二つのことをお願いしました。「明日も来なくなる学校を作りましょう」。そして「自分を大切にすること。隣にいる人を大切にすること」。
この約 3 か月、どうだったでしょうか。楽しく過ごせた人もいれば、正直しんどかった、という人もいます。その話は、あとでもう一度します。
- さて、今日 7 月 16 日は何の日か知っていますか？ なな、いろ、七色、そう、虹の日です。
虹には、実は不思議な秘密があります。隣にいる友達と一緒に虹を見えていても、実は同じ虹を見ているわけじゃないんです。
- 虹は、空に「もの」として掛かっているわけではありません。太陽の光が雨粒に当たって、はね返った光が目が届く現象です。そして、自分の目に届く光と、隣の人の目に届く光は、別の雨粒からはね返った光です。
つまり、自分に見えている虹と、隣の人に見えている虹は、厳密には違う虹なんです。世界中で、同じ虹を見ている人は一人もいない。一人ひとりが、自分だけの虹を見ている。これは科学的な事実なので、おもしろいですね。
- これは、虹だけじゃありません。同じ教室で、同じ授業を受けて、同じ行事に参加しても、楽しかったと思う人もいれば、つまらなかったと思う人もいます。
同じ言葉でも、自分は何とも思わなくても、深く傷つく人がいるかもしれません。SNS で送る言葉も同じです。自分は軽い気持ちで送った言葉でも、受け取った人には、とてもつらい言葉になることがあります。
- だから、自分の感じ方だけで相手の気持ちを判断してはいけません。
「自分なら平気だから」「自分なら気にしないから」ではなく、「もし自分があの人の立場だったら、どんな気持ちになるだろう」と想像してみてください。
それが、相手の気持ちに寄り添うことです。そして、それが 4 月にお願いした「隣の人を大切にすること」につながると、僕は思っています。
- 今日から夏休みです。お願いは二つあります。ひとつめは、体を大切にすること。暑い日が続きます。熱中症や事故には十分気をつけてください。ふたつめは、心を大切にすることです。もし、苦しいことや悩むことがあれば、絶対に一人で抱え込まないでください。家族でも、先生でも、友達でもいい。必ず誰かに話してください。
- 2 学期、また元気な皆さんと会えることを楽しみにしています。この夏、夕立のあとに虹を見つけたら、思い出してください。これは、自分だけの虹。そして隣の人には、違う虹が見えている。以上です。